

## English follows Japanese

### 創世記 18:16-33 神の友達

おはようございます。今日は引き続き創世記 18 章の、16 節から続けます。先週は 3 人の来客の話ではじまり、その内の一人は明らかに神様で、新約聖書前のイエス・キリストであったのでしょうか。今日の話ではあらためてこの来客者とのやり取りの中でアブラハムと神様の親密な関係について続けます。この関係とは、今日我々も神様ともてる関係のロールモデルとなっております。祈って本日の箇所を読んで行きましょう。

まずは最初の 2 節、16-17 節を読みましょう。彼らはアブラハムとさらに会いに来て、再び出発してソドムの方へと向かいましたが、アブラハムは同行しました。16 **その人たちは、そこを立って、ソドムを見おろすほうへ上って行った。アブラハムも彼らを見送るために、彼らといっしょに歩いていった。**17 **主はこう考えられた。「わたしがしようとしていることを、アブラハムに隠しておくべきだろうか。**このようにアブラハムは付いていきました。神様は実際に独り言を語ります。「**わたしがしようとしていることを、アブラハムに隠しておくべきだろうか。**アブラハムに神ご自身の行動を見せたかったのです。これはアブラハムが食事を供え、神に従い崇拝するという一方的な関係ではありませんでした。神様はアブラハムにご自身の働きをお見せしたかったのです。特にすぐ近くにあるソドムという町について。

これは友情とよべる関係です。今日の箇所で見受けられるのは、驚くことに、数百年後ヨシャファトが「神の友」と表現した場面であるということです。歴代詩第二 20:7 **7 私たちの神よ。あなたはこの地の住民をあなたの民イスラエルの前から追い払い、これをとこしえにあなたの友アブラハムのすえに賜ったではありませんか。**神様が友としてアブラハムを友として接したのです！これはアメージングです！神を主・救い主・王様・ではなく、友と呼ぶのとは全く異なります。神はアブラハムを親しい友として接したのです。私の友アブラハムに自分が何をするか伝えたかったのです。皆様も友人には教えてあげたい、そうではないでしょうか？そして神様はこのようにして我々と接したいのです。友達としてです。今日最後に予定している賛美はこれにふさわしいです。私は、我々は、神の友なのです。

一体なぜ人間が神の友になれるのでしょうか？続く二節でその理由が書かれています。18 節を一緒に見ましょう。18 **アブラハムは必ず大いなる強い国民となり、地のすべて国々は、彼によって祝福される。**ここで神による友情の基本となる、神の呼びかけおよび約束が書かれています。神様は、すでに聖約に基づいた関係が構築されていて、この新しい地への移動も従っているのです、私は彼に行くことを待つ必要もないとしています。神様はイエス・キリストを通して聖約しています。ヘブライ人 9:15 はキリストについて「**15 こういうわけで、キリストは新しい契約の仲介者です。それは、初めの契約のときの違反を贖うための死が実現したので、召された者たちが永遠の資産の約束を受けることができるためなのです。**」我々がイエス・キリストを知っているのであれば、我々は新しい聖約、神との新しい関係に携わるよう招かれています。その関係とは、信仰に基づいた、アブラハムがもっていた関係です。この新しい聖約は神と共に永遠の命に携われるという約束です。この聖約とは我々の代わりに罪の刑罰を背負って亡くなられました。神様がアブラハムを呼ばれたのと同じように、我々を救いへと呼んでくださります。全ての信者は神様から呼び出されて救われて永遠の命を受けなくてはなりません。第一ペトロ 2:9 で我々は**やみの中から招かれています。エフェソ 4:1 では教会全体に語り掛けるパウロは召されたものはその召しにふさわしく歩むようにとあり、教会全体にキリストらしい生き方をするように言われています。第二ペトロ 1:10 でペテロは召されたことと選ばれたこととを確かなものとするよう、呼びかけています。我々は救われ仕えるように召されており、そのため我々は神の友と言えるのです！**

神に招聘されたというコンセプトがあり、その上でアブラハムが神の友とされる 2 つ目の理由につながります。神による選定、すなわち神が自らの民を選ぶことです。19 節を読んでください。19 **わたしが彼を選び出したのは、彼がその子らと、彼の後の家族とに命じて主の道を守らせ、正義と公正とを行わせるため、主が、アブラハムについて約束したことを、彼の上に成就するためである。**ただ国々の父になると聖約をして約束したことが、神との友情関係のベースになっているではありません。神による「選定」という発想です。神様がこの友情関係のためにアブラハムをお選びになったのです。そしてこれはアブラハムが子供たちに義と聖なることを受け継がせるためでした。唯一ここでは聖書全体で神様がアブラハムとの聖約に条件を付けているように見えます。イスラエルの民、アブラハムの子孫は、約束された地を保有し偉大なる国になるのですが、主の道を

救いの約束は今日もこのように続きます。神による聖なる選定により、神の主権に基づきお選びになり、我々自らのキリストに従うという判断のみではありません。そしてこの神による選定とは、我々の聖なる生き方を通して神に栄光を与えることが、あくまでもの目的です。エペソ人への手紙 1:4-6 は 4 すなわち、神は私たちを世界の基の置かれる前から彼にあって選び、御前で聖く、傷のない者にしようとされました。5 神は、みむねとみこころのままに、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ決めておられました。6 それは、神がその愛する方にあって私たちに与えてくださった恵みの栄光が、ほめたたえられるためです。とあります。もしあなたがキリストを受け入れたのに、生き方が何も変わらないのであれば、あなたは救われなくてもいいかもしれません。聖書は明確に、アブラハムを含め全員が問題を抱えており、それは本当に聖なる者になる妨げになっていると書いています。その問題は罪です。ローマ人への手紙 3:23 では全ての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができませんとあります。しかしイエス様は我々の罪を自らに背負い、その罰を一身に受けて、我々を義とされ神様が聖なる者として見てくださるようにされました。第二コリント 5:21 には神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方において、神の義となるためです。とあります。

これこそ神様の選定の全貌です！これは厳しく嘆くべき、神様が除外するといった倫理ではありません。それではなく、我々全ては何ももらう資格が無いと宣言するのです。しかし神様は、我々が自らの力で得たのではない神の前での義を与えられ、本来与えられるべき罪に対する刑罰を科さず、我々が友とされるようにしてくださいました！さて、聖書には我々の責務と神の聖なる主権の間にはテンションがあります。しかし我々から見ると自らがキリストを選んでるように見えても、実際は神が我々を友として選んでいるのです。そして友である我々には責任があり、それはどこの誰が選ばれたのかを決めるのではなく、全ての人に良きニュース、イエス・キリストには新しい命が与えられていると伝えることです。この自らのチョイスで救われる人を選ぶ同じ神様は、第二ペトロ 3:9 にこのように表現されています。主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるのではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです

さて、この神とアブラハムの友情関係を確認しましたが、次に神様がその友に語ることを 20 節で確認しましょう。20 そこで主は仰せられた。「ソドムとゴモラの叫びは非常に大きく、また彼らの罪はきわめて重い。21 わたしは下って行って、わたしに届いた叫びどおりに、彼らが実際に行っているかどうかを見よう。わたしは知りたいのだ。」神様はソドムとゴモラの罪の大きさを自分の目で確かめるのです。当然アブラハムにはこれを知り心配します。というのも甥の口がこの町に住んでいるからです。もちろん神様はソドムがどうなるかは知っていますし、わざわざ見に行く必要などありません。聖書によると叫びは大きくとありますが、この叫びとは犠牲者の不平にたいする叫びです。ソドムとゴモラでは多くの罪が蔓延していましたが、特に嘆かれたのが不正と犠牲者がひどい目にあってきた状態でした。次の章で学びますが、ソドムは極端なモラルと性の乱れがありました。しかし神は預言者エゼキエルにきわめて重い罪が何かを伝えました。エゼキエル 16:48-50。48 わたしは誓って言うが、—神である主の御告げ—あなたの妹ソドムとその娘たちは決して、あなたと、あなたの娘たちがしたほどのことはしなかった。49 だが、あなたの妹ソドムの不義はこうだった。彼女とその娘たちは高慢で、食物に飽き、安逸をむさぼり、乏しい者や、貧しい者の世話をしなかった。50 彼女たちは高ぶって、わたしの前で忌みきらうべきことをしたので、わたしはこれを見たとき、彼らを取り除いた。貧しい者に対しての公平が欠けてたのです。どうでしょう！これは現代の国々に似ていませんか？我々は様々な国の出身ですが、多くの国がこの表現に当てはまりませんか？貧しい人、難民者、そして人間的に大変な状況に置かせます。

アブラハムについて我々が知っているのは、彼が他人をきにかけていたことです。特に彼の甥っ子である口への対応はまさにそうです。アブラハムは神のこの判断について、甥っ子の家族にどのような影響が与えられるか話し始めました。22 その人たちはそこからソドムのほうへと進んで行った。アブラハムはまだ、主の前に立っていた。23 アブラハムは近づいて申し上げた。「あなたはほんとうに、正しい者を、悪い者といっしょに滅ぼし尽くされるのですか。神と同行していた天使はその場を出発してソドムに向かいます。そこでアブラハムは先ほどもうしあげた新約聖書ではイエス様として現れる神の子と直接話します。20・21 節では神様のソドムに対する意図が必ずしも明確ではないかもしれませんが。しかしアブラハムの反応からも明確なように、彼は主が語った言葉をこの町への神判としてとらえました。おそらくソドムとゴモラがどれほど悪かったかは有名だったのでしょう。

そしてここで神様とアブラハムの関係がいかに近い友情関係であったかが見えてきます。低い姿勢でありつつもアブラハムは直接神と交渉してソドムを救おうとしました。24-33節を読みましょう。24 もしや、その町の中に五十人の正しい者がいるかもしれません。ほんとうに滅ぼしてしまわれうのですか。その中にいる五十人の正しい者のために、その町をお赦しにはならないのですか。25 正しい者を悪い者といっしょに殺し、そのため、正しい者と悪い者がおなじようになるというようなことを、あなたがなされるはずがありません。とてもありえないことです。全世界をさばくお方は、公義をを行うべきではありませんか。」26 主は答えられた。「もしソドムで、わたしが五十人の正しい者を町の中に見つけたら、その人たちのために、その町全部を赦そう。」27 アブラハムは答えて言った。「私はちりや灰にすぎませんが、あえて主に申し上げるのをお許してください。28 もしも五十人の正しい者に五人不足しているかもしれません。その五人のために、あなたは町の全部を滅ぼされるのでしょうか。」主は仰せられた。「滅ぼすまい。もしそこにわたしが四十五人を見つけたら。」29 そこで、再び尋ねて申し上げた。「もしそこに四十人見つかるかもしれません。」すると仰せられた。「滅ぼすまい。その四十人のために。」30 また彼は言った。「主よ。どうかお怒りにならないで、私に言わせてください。もしやそこに三十人見つかるかもしれません。」主は仰せられた。「滅ぼすまい。もしそこにわたしが三十人を見つけたら。」31 彼は言った。「私があえて、主に申し上げるのをお許してください。もしやそこに二十人見つかるかもしれません。」すると仰せられた。「滅ぼすまい。その二十人のために。」32 彼はまた言った。「主よ。どうかお怒りにならないで、今一度だけ私に言わせてください。もしやそこに十人見つかるかもしれません。」すると主は仰せられた。「滅ぼすまい。その十人のために。」33 主はアブラハムと語り終えられると、去って行かれた。アブラハムは自分の家へ帰って行った。

神様がアブラハムと友情関係をもっていたことで驚いてはいけません。アブラハムが直接神様と交渉して、神様の反応を良い形に誘導できると思っていたこと自体驚きです。なぜアブラハムはこのようなことが出来たのでしょうか？これは神様の3つのキャラクターに基づいてしたからです。まずは神様の合いです。イエス様がお生まれになられる遥か前から、神はこの世をこよなく愛し。ていることを知っていたのです。そしてイエス様が2000年後ヨハネ13:34で語られることに従っていたのです。あなたがたに新しい戒めを与えましょう。あなたがたは互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、そのように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。アブラハムは甥のロトを愛し、滅ぼされるのは見たくありませんでした。同時にアブラハムは神の義を理解していました。罪は処罰を受けなくてはなりません。詩編37:28にはまことに、主は公義を愛し、ご自身の聖徒を見捨てられない。彼らは永遠に保たれるが、悪者どもの子孫は断ち切られる。とあります。神が罪を罰するのは当然です。しかしアブラハムがここでアピールした神様の側面は、神の慈愛です。罰を受けるべき人を罰さないのは慈愛です。最終的に神様は10人の義となる人がソドムとゴモラにいれば許すというのですが、残念ながらそうにはなりませんでした。

しかしこれは今日我々に希望を与えるべきです。我々が出身地とする国も町もクリスチャンではありません。どれも神様を人間の成功の上に位置付けていません。しかし神様はたった10人のためでも、彼らが本当に神様に従うのであれば審判を下すのを止めるとしました。まだ私の祖国のアメリカにも、私を受け入れてくれた日本にも、皆様が代表する国々も神様の審判から許され、悔い改めてキリストに向ける時間が与えられるかもしれません。なぜならばイエス・キリストを従う者がいるからです。我々は地の塩と光であるようにと招聘されています。そして罪のために地獄で苦しむのではなく、イエス・キリストという救い主に希望があることを伝えられるのです。我々のこの友について、他人にちゃんと話しますか？神様の横浜に対する、日本に対する審判は、我々がここに住み、神様に使えることによって回避されますか？そして最後に、我々は神様との接し方がアブラハムと同じようにできるのでしょうか？人生の最も親密なことまで共有できる友達として。

教会の年間総会である今日の神の言葉の時間を終えるにあたって、主の晩餐で共に食卓に預かる以上に良い方法は、果たしてあるのでしょうか？この食事で我々は神様を友とできる可能性を与えてくれた唯一の方法を喜び覚えるのです。それはイエス・キリストの死です。もしあなたがキリストを救い主として受け入れ、それに従いバプテスマを受けたのであれば、この食事に参加してください。祈ったあと、Deaconが四方でパンとぶどうジュースをお渡しします。全員に配られるまで、聖書に書かれているように自らを神の前で見つめて、食す前の準備を行ってください。

## Genesis 18:16-33 A Friend of God

Good morning. Today we continue in Genesis 18, starting at verse 16. Remember that last week this chapter begins with a visit from 3 men, one of whom is clearly God, probably a pre New Testament appearance of Jesus Christ. Today, the story continues with these men as we see how close God's relationship was to Abraham. That relationship is a model for us of the close relationship we can also enjoy with God. **Let's pray** and then get into our text today.

Let's begin by reading the first two verses of our passage, verse 16 and 17. Remember these men had come to visit Abraham and Sarah and now they leave Abraham and head towards the town of Sodom and Abraham goes with them as we see here. The Bible says, **16 Then the men set out from there, and they looked down toward Sodom. And Abraham went with them to set them on their way. 17 The Lord said, "Shall I hide from Abraham what I am about to do,** So Abraham goes with the men as they head toward Sodom. It's interesting that God is basically talking to himself and saying, "I should tell Abraham this." **Shall I hide from Abraham what I'm about to do?** God wanted Abraham to know what was going on in the life of God. This wasn't a one sided relationship where Abraham provided a meal and spent time with God in worship and built altars and followed God's call. God says I want to let Abraham know about the work that I'm doing, especially in this area that's right near him- Sodom.

This is a relationship of friendship. We find this amazing description of Abraham as a "Friend of God" spoken by Jehoshaphat hundreds of years later under the inspiration of the Holy Spirit. Look at **2 Chronicles 20:7, 7 Did you not, our God, drive out the inhabitants of this land before your people Israel, and give it forever to the descendants of Abraham your friend?** God approached Abraham as a friend! This is amazing! It's one thing to call God your Lord, your Savior, your King, your Master, your God; but it is an entirely different relationship to call God, your friend. God talked about Abraham like you would a close human friend. I want my friend Abraham to know what I'm doing. Isn't this how you relate to your friends? And its how God wants to relate to us – as a friend. The words of the song we will close with our true – I am and we are a Friend of God.

Why would a human, any human, get to be God's friend? We see the reason for that in the next two verses. Look at verse 18. **18 seeing that Abraham shall surely become a great and mighty nation, and all the nations of the earth shall be blessed in him?** Here in verse 18, we see **the first basis for friendship with God, God's call and promise to him.** God is saying, since I already have a relationship involving a covenant and promise to him, and he obeyed me in my call to come to this new land, then I do not want to keep from him what I am doing. God has also made a covenant with us through Jesus Christ. **Hebrews 9:15 says about Christ, Therefore he is the mediator of a new covenant, so that those who are called may receive the promised eternal inheritance, since a death has occurred that redeems them from the transgressions committed under the first covenant.** So, if we know Jesus Christ, we have been called by Him into a new covenant, a new relationship with God. It is a relationship based on faith just like Abraham. This new covenant is the promise of eternal life in the presence of God forever. And the covenant is only possible by the death of Jesus Christ, who died in our place and took the punishment for our sins – transgressions, here in Hebrews. Just as God called Abraham, he calls us to salvation. Every believer had to be called by God to receive salvation and Eternal life. In **1 Peter 2:9, we are "called out of darkness."** In **Ephesians 4:1, speaking to the whole church Paul says we need to walk worthy of the "calling with which you have been called."** It's a calling to the whole church to Christlike living. Again in **2 Peter 1:10, Peter speaking to all Christians equates calling to our election in Christ to salvation when he says, "Be diligent to confirm your calling and election..."** We are all called to salvation and to service, so we can all say that we are friends of God!

The concept of calling leads to the **second reason that Abraham was considered a friend of God- Divine Election, which is God's choosing of his people.** Look at verse 19 **19 For I**

have chosen<sup>[f]</sup> him, that he may command his children and his household after him to keep the way of the Lord by doing righteousness and justice, so that the Lord may bring to Abraham what he has promised him.” So, its not just about the covenant or promise that God has made to Abraham to make him into a great nation that leads to friendship with God. It is also about this idea of election – God choosing Abraham for this relationship. And it was an election leading to righteousness and holiness, that Abraham was supposed to pass on to his children. This is one place in Scripture where there seems to be a condition to God’s covenant with Abraham. The people of Israel, Abraham’s descendants would be able to keep the promised land and be a great nation only so long as they were keeping the way of the Lord.

This is how the covenant of salvation continues to be today. It is based on God’s divine election, his sovereign choice to save us, and not on our choice to follow Christ. Also, election continues to be about saving us for the purpose of bringing glory to God through holy lives. [Ephesians 1:4-6](#) says, [4 even as he chose us in him before the foundation of the world, that we should be holy and blameless before him. In love he predestined us for adoption to himself as sons through Jesus Christ, according to the purpose of his will, to the praise of his glorious grace, with which he has blessed us in the Beloved.](#) If nothing changes when you accept Christ as your Savior, then you may not be saved. Now, the Bible is very clear that all of us including Abraham have a problem that keeps us from ever being truly holy. That problem is sin. [Romans 3:23](#) says, [For all have sinned and fall short of the glory of God.](#) But Jesus took our sin on himself and suffered the punishment for it, so we can have his righteousness then given or imputed to us, so God sees us as holy. [2 Corinthians 5:21](#) says, [For our sake he made him to be sin who knew no sin, so that in him we might become the righteousness of God.](#)

This is what election is all about! Its not a sad doctrine of God leaving people out. Instead, it recognizes that none of us deserve anything; but God chose to give us righteousness that we didn’t earn and withhold punishment that we did earn and give the gift of faith so that we could be a friend of God! Now, there is a tension in Scripture between our responsibility and God’s Divine sovereignty. But what may look from our human perspective like us choosing to follow Christ is actually God choosing us to be his friend. And we who are his friend, have a responsibility, not to figure out if someone is chosen; but to give everyone the good news that there is New Life available in Jesus Christ. The same God who has elected whoever he wills to salvation is described in [2 Peter 3:9](#) as [“not slow in keeping his promise as some understand slowness, but is patient with you, not wanting anyone to perish, but everyone to come to repentance.”](#)

Now after seeing this relationship God has with Abraham as his friend, we see this news that he wants to tell his friend in verse 20. [20 Then the Lord said, “Because the outcry against Sodom and Gomorrah is great and their sin is very grave, 21 I will go down to see whether they have done altogether<sup>\[g\]</sup> according to the outcry that has come to me. And if not, I will know.”](#) God is going to investigate the sin of Sodom and Gomorrah and see just how great it is. Now, of course, this is of great concern to Abraham because his nephew Lot lives in the city. Of course, God already knows what is happening in Sodom, and really doesn’t have to investigate the situation. The Bible says he has heard the outcry. That word “outcry” is a cry of victims of injustice. There was much wrong in the sister cities of Sodom and Gomorrah, but one of the sins they are explicitly called out for and is a lack of justice and mistreatment of others. Sodom was a city of extreme immorality and sexual perversion as we will see in the next chapter. But when God tells the Prophet Ezekiel what their primary sin was, it is not those sins that are called out. In [Ezekiel 16:48-50](#), God says, [48 As I live, declares the Lord God, your sister Sodom and her daughters have not done as you and your daughters have done. 49 Behold, this was the guilt of your sister Sodom: she and her daughters had pride, excess of food, and prosperous ease, but did not aid the poor and needy. 50 They were haughty and did an abomination before me. So I removed them, when I saw it.](#) There was no justice towards those less fortunate. Wow! Does

this sound like modern nations? We all come from many nations, but I have to think that many of the countries we come from could fit this description in their treatment of the poor, refugees, others whose circumstances put them at a severe disadvantage humanly speaking.

But one thing we know about Abraham is that he cares about others. We especially see that in his treatment of his nephew Lot. So, we see Abraham begin to talk to God about this decision that will affect his nephew's family in verse 22. **22 So the men turned from there and went toward Sodom, but Abraham still stood before the Lord.** **23 Then Abraham drew near and said, "Will you indeed sweep away the righteous with the wicked?"** It seems that the two angels that are not God leave to go to Sodom. But now Abraham has a direct conversation with the man that I previously said is likely a pre-New Testament appearance of God the Son, Jesus Christ. It may not be immediately clear from verse 20 and 21 what God's intent is towards Sodom. But it is clear from Abraham's response that he took the Lord's words to be a promise of judgement on the city. It was most certainly very well known just how sinful and evil the cities of Sodom and Gomorrah were.

And it is here that we begin to see how close this friendship with God really is. Abraham humbly but directly begins to negotiate with God to save the city of Sodom. Let's read verses 24-33. **(read alternating Japanese and English at the marks).** **24 Suppose there are fifty righteous within the city. Will you then sweep away the place and not spare it for the fifty righteous who are in it? 25 Far be it from you to do such a thing, to put the righteous to death with the wicked, so that the righteous fare as the wicked! Far be that from you! Shall not the Judge of all the earth do what is just?" 26 And the Lord said, "If I find at Sodom fifty righteous in the city, I will spare the whole place for their sake."// 27 Abraham answered and said, "Behold, I have undertaken to speak to the Lord, I who am but dust and ashes. 28 Suppose five of the fifty righteous are lacking. Will you destroy the whole city for lack of five?" And he said, "I will not destroy it if I find forty-five there."// 29 Again he spoke to him and said, "Suppose forty are found there." He answered, "For the sake of forty I will not do it."// 30 Then he said, "Oh let not the Lord be angry, and I will speak. Suppose thirty are found there." He answered, "I will not do it, if I find thirty there."// He said, "Behold, I have undertaken to speak to the Lord. Suppose twenty are found there." He answered, "For the sake of twenty I will not destroy it."// 32 Then he said, "Oh let not the Lord be angry, and I will speak again but this once. Suppose ten are found there." He answered, "For the sake of ten I will not destroy it." 33 And the Lord went his way, when he had finished speaking to Abraham, and Abraham returned to his place.//**

If it was incredible that God had this friendship with Abraham, it is even more incredible that Abraham felt that his relationship with God was such that he could negotiate with God and actually have God respond positively. How could Abraham do this? He negotiated with God based on three aspects of God's character. The first is God's love. He understood long before Jesus was born that **God so loved the world...** as **John 3:16** tells us. And he was following God's command given two thousand years later when Jesus said in **John 13:35, A new commandment I give to you, that you love one another: just as I have loved you, you also are to love one another.** Abraham loved his nephew Lot and did not want to see him destroyed. But Abraham also understood God's Justice. Sin must be punished, and he never questioned that Sodom deserved God's wrath. **Psalm 37:28 says, For the Lord loves justice; he will not forsake his saints. They are preserved forever, but the children of the wicked shall be cut off.** It is just and right for God to punish sin. But the character trait of God that Abraham turned to at this time was God's mercy. Would God withhold his judgement against those who deserved it? That is mercy. The final answer from God is that if even 10 righteous people who followed God were found in Sodom and Gomorrah, God would withhold judgement. Sadly, we will see that is not the case.

But this should give hope to us today. None of the nations and cities that we represent are “Christian.” None of them put God’s glory ahead of human achievement. Many even persecute the people of God. Yet, God says for the sake of even 10 people in a city who truly follow him, he would hold back judgement. There is still hope for my home country of the United States and my adopted country of Japan and the countries you represent to be spared God’s judgement and given more time for people to repent and turn to Christ, because of the presence of true followers of Jesus Christ. We are called to be salt and light, and warn people who are on their way to the punishment of hell for their sins that there is hope in a Savior named Jesus Christ. Do we talk to others about our friend? Will God’s judgment on Yokohama, or on Japan be held back because we live and serve God in this place. And finally, do we relate to God as Abraham did – a friend who wanted to share the intimate details of life together.

There is no better way to end our time in God’s word, especially on the day of our annual business meeting, than coming in unity to the Lord’s Supper. In this meal we celebrate and remember the one act that makes it possible for us to be a Friend of God – the death of Jesus Christ. If you are here and have accepted Christ as your Savior and been obedient in baptism, then I invite you to join us in this communion meal. After I pray, the Deacons will serve the pre-packaged elements from the 4 corners of the Sanctuary. Please take the time while others are served to examine yourself before God as the Bible says in preparation to eat and drink. Let’s pray.